

日本社会事業大学同窓会 栃木県支部

会報 いずみ 第12号

栃木県支部事務局：真岡市高勢町 2-248-5 菊池方

Tel: 090-2321-0902 e-mail: k0226@mbd.ocn.ne.jp

発行 令和6年12月

『スズカケノキの命運』

《学部6期 田村匡彦》

今回の報告は会報（第11号）で紹介した「県立美術館スズカケノキ保存の願い」の続報です。

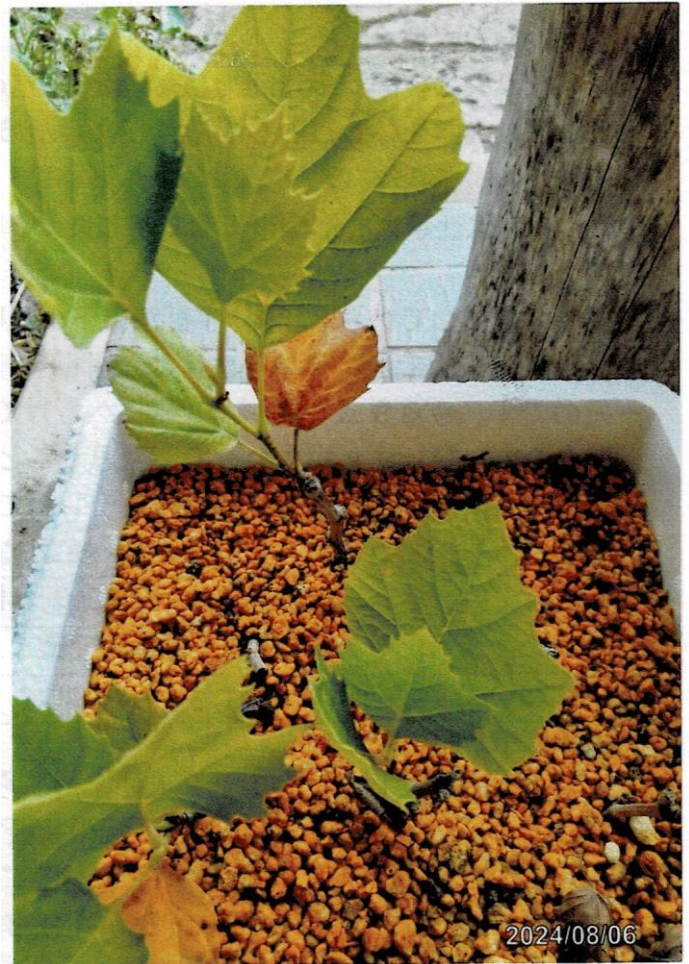
2023年10月9日、冷たい雨の中で始まった伐採の作業は昼前には終わり、人間の膝程の高さを残した切り株となりました。

遠巻きに見守っていた市民から、「血しぶきを上げているようで、寂しい。」との声が聴かれました。チェーンソーは大樹の樹幹を赤みのあるおがくずとして吹き出しながら次々と輪切りにし、クレーンがそれを吊り上げて搬出車両に移していったのです。

スズカケノキは県立博物館の鑑定で樹種がモミジバスズカケノキであることが判明しています。育児施設下野三楽園の園庭に大正の初めに、植えられたことは前号で述べました。

県内唯一の育児施設として戦前、戦中に3つの家庭舎から成る園が果たした役割は大きく、施設の歩みはそのまま栃木県の児童保護の歩みでもありました。施設現場の維持管理は関野祐次フユ夫妻とその子ども達の献身に拠っていたと言っても過言ではありません。

戦後引き揚げ孤児を迎え入れることを目的に家庭舎を急ぎよ5つ増築しています。1971



(昭和46)年6月宇都宮市篠井に移転するまでの住み込み保母に依拠した施設60年の歩みを見守ってきたスズカケノキでした。

昨年秋伐採の日にスズカケノキの枝数本をもらい受けた「保存を求める会」は県林業センターの助言で10月末鹿沼土の用土に挿し木をしました。幸いなことに、冬を越し春には発根の兆しを観察しました。そしてこの夏の猛暑では黄葉とその落葉に心配しましたが、苗木となった3本は大切に育てられ秋を迎えようとしています。あのスズカケノキのいのちは未来へと繋がったのです。

この苗木はこれから美術館と林業センターで取り組まれる苗木作りを後方から支援する役割を担っています。

《鈴木満千子》

私は社事大の夜間で一年間学びました。原宿の竹下通りを、急ぎ足で大学まで歩きました。日本福祉大学を体をこわして退学しましたので、一年間だけでも学んでみたいと考えたからです。

昼は、今は社事大も清瀬市になりましたが、清瀬市内にある重度の身体障害者施設で働いていました。

高校を卒業してから2年間、宇都宮市下小池町にある養護施設 下野三楽園で働いておりました。それから日本福祉大へ行ったのです。今69歳ですが、社事校へ行けて良かったです。

ほんの少し福祉にたずさわって、今思うこと。

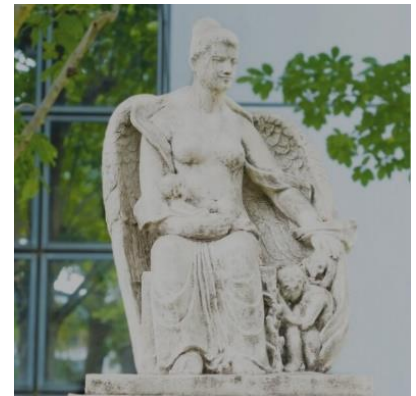
戦争で子供たちが死んでいく状態をテレビでみるたび、子供たち(日本)の貧しくて、ごはんを食べられないとか・・・。

大田原市にある若草養護老人ホームで3年間住み込みで仕事していた頃もありました。どうか現場で働く人々へ働きやすいよう願います。

大田原市と言っても山々にかこまれた所に、42才で結婚した私は、自分が統合失調症だと40才で知りました。主人と2人仲よく暮らしております。

この今の社会で生きづらくてメンタルを病めるのが多くなります。

どうか社会事業大学の卒業生の人々、精神分野へのお力をそそいでください。お願いします。



令和5年度 事業報告

1. 会報「いずみ」第11号発行

2. 役員会の開催

日時：令和5年7月8日 会場：社会福祉法人パステル CSW おとめ

3. 総会の開催

日時：令和6年9月30日 会場：社会福祉法人パステル CSW おとめ

令和6年度 事業計画

1. 会報「いずみ」第12号発行

2. 役員会の開催

3. OB・OGとの交流会開催（母校開催）

4. その他必要とする事業

日本社会事業大学同窓会 栃木県支部 役員名簿(令和6～7年度)

【顧問】 沼尾 武次（本科5期）・石橋 俊一（学部1期）

【会長】 檜山 浩（学部25期）

【副会長】 関 久美子（学部29期）

【幹事】 菊池 浩史（学部34期）

【監事】 菊地 月香（院18期）・柴田 雄太（学部46期）

令和5年度 決算報告

収入			支出		
会費	26,000	2,000円×13人	通信費	32,146	会報、通知
補助金	30,000	五味基金	総会費	0	
寄付金	44,000		印刷費	15,453	会報、通知
繰越金	813		慶弔費	26,500	
			消耗品費	2,740	インク代
			雑費	0	
収入計	100,813		支出計	76,839	

収支差額 23,974円（令和6年度に繰越）

令和6年度 予算

収入			支出		
会費	20,000	2,000円×10人	通信費	35,000	会報等発送費用
補助金	30,000	五味基金	総会費	5,000	会場費等
寄付金	5,000		印刷費	25,000	会報等印刷費用
雑収入	1,000		慶弔費	10,000	慶弔費用
繰越金	23,974		消耗品費	1,000	用紙代等
			会議費	1,000	お茶代
			雑費	2,974	
収入計	79,974		支出計	79,974	

会費納入・カンパにご協力お願いします！

会報の原稿募集通知にて会費納入をお願いしたところ、多くの方から会費・カンパをお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

引き続き、同窓会の円滑な運営のため、会費(2,000円)納入とカンパにご協力をお願いいたします。

振込口座 筑波銀行 鹿沼支店 普通口座 1030143 菊池浩史

会費納入者 (順不同・敬称略・令和6年11月19日現在)

◎石橋俊一・◎石橋須見江・◎中島麻里・檜山浩・◎岩崎操・菊池浩史・◎折井由紀子
永島徹・田村匡彦・長谷川孝範・伊藤勝規・星野かおり・浅香勉・山田登子・柴田雄太
(◎はカンパをいただいた方です。)

編集後記

この世に生を受けたからには、どんなに小さくとも自分が生まれてきた足跡を世に残すのだ！と思って生きてまいりましたが、50も過ぎてようやく自分は何者でもなく、そのようなことを考えるにはちっぽけな存在なのだと感じかされました。

同窓会の事務局などやっていると、社大の先輩たちの素晴らしさをあらためて思い知らされ、自分は社大OBを名乗ることすらおこがましいと思わされます。

最近、仕事はなんとなくこなし、週末スタジアムでビール飲みながらサッカーを観るのが楽しみという、ヨーロッパの労働者階級のおっさんみたいな生活です。これはこれで楽しいですが、できないなりになにか少しは社会に貢献できないかと考える今日この頃。